

ネパールで計画中の「子ども病院」建設に役立ててもらおうと、河内長野市の市職員、東秀光さん（55）がこのほど、100万円をAMDA（アジア医師連絡協議会）を通して寄付。「少しの善意で多くの子どもたちが救われます」と広く寄付を呼びかけている。

河内長野市職員

東秀光さん100万円寄付



「ネパールに病院を」と  
100万円を寄付した東  
さん

と知って援助を申し出ま  
した」

一昨年、河内長野ライ  
オンズクラブが約四百万  
円を寄付。ネパールで二  
階建て小学校を建設して  
いる実績から、「日本で  
の少しの善意が向こうで  
は大きな実を結びます。

関心のある方は問い合わせ  
せてほしい」と東さ  
ん。寄付は東さんを窓口  
にAMDAを通してネパ  
ールに送られる。

問い合わせは同市役所  
（☎0721・53・111  
11内線570）東さん  
へ。

# ネパールに子ども病院を

東さんは市地域振興部  
副理事で、国際ライズメ  
ンズクラブの会員でもあ  
る。昭和四十年初め、医

療関係者からネパールの  
状況を聞いて興味を持  
ち、以来白切手運動でつ

くった資金をもとに結核  
が多いネパールに医薬品  
などを送り続けた。

「最近、ネパールもだ  
いふ寿命が延びてきてい  
るので、もうぼちぼち運  
う国に目を配らんとあか

んかなあ」と思っていた  
矢先、「子ども病院」建  
設が予定されているとい

う記事を読み、今回の寄  
付となった。

どの行政区があるのに、  
ほとんどが無医村。特に  
「ネパールには七十ほ  
子どもたちが困っている

「小さな善意が大きな実結ぶ」